

行 政 報 告

平成23年度福島町議会定例会12月会議の開会にあたり、9月14日開催の定例会9月第2回会議以後の行政報告を申し上げます。

なお、この間の諸行事等の報告については、別紙に印刷のうえ、お手元に配布しておりますのでご了承願います。

はじめに

★ 福島町表彰式について

11月3日の文化の日に、約70名の町民の方々のご出席をいただき福島町表彰式を開催いたしました。

本年度の受賞者は、功労表彰9名、善行表彰1名と、感謝状2団体であり、これまでのご功績などを讃えて表彰したところであります。

なお、来る1月2日開催の新年交礼会の際に、受賞祝賀会を予定しております。

★ 普通交付税の追加交付について

10月26日付けにて、普通交付税の再算定が行われ、7万7千円の追加交付が決定されましたのでご報告いたします。

これによりまして、普通交付税の総額は17億6,619万円の交付となります。

この度の補正追加分620万3千円を差引き致しますと普通交付税の留保財源は1億2,807万4千円となります。

★ 津軽海峡・陸奥湾広域連携市町村長サミットの開催について

11月21日に青森市の青森県観光物産館アスパムを会場に、津軽海峡・陸奥湾広域連携市町村長サミットが開催されました。

当日は、青森県と北海道の津軽海峡及び陸奥湾沿岸の市町村長18名が一堂に会して、「東北新幹線新青森駅開業及び今後の北海道新幹線新函館駅（仮称）開業も念頭に置いた、道南地域も含めた新たな継続的な広域連携について」をテーマに、意見交換を行いました。

★ 敬老会について

9月19日に福島小学校体育館において開催された敬老会は、敬老対象者の方399名、来賓の方や町内会協力者の方々など、総勢545名の方が参加し、盛大に開催することができました。歌謡ショーや健康体操に会場の皆さんは大いに楽しんでいただけたところであります。

★ 高齢者ふれあいスポーツ大会の開催について

高齢者ふれあいスポーツ大会は、10月13日に来賓やボランティアも含めて291名の方に参加をいただき開催されました。

福島保育所や吉岡幼稚園及び福島幼稚園の子供達とのふれあい競技や子供達による遊戯が披露されるなど、会場一体となって楽しいひとときを過ごしていただきました。

★ 福島保育所遊戯会の開催について

福島保育所の遊戯会が11月13日に福祉センターで行われ、保育所の子供達のほかに、ゆりっこ広場の子供達も加わり、家族などの見学者を含め総勢250名を超える来場者の中で、子ども達は歌や遊戯を披露して、大きな声援を受けたところであります。

★ インフルエンザ予防ワクチン接種事業について

インフルエンザ予防ワクチンの接種事業につきましては、11月1日から接種を開始しておりますが、11月22日現在、助成対象者2,459名のうち1,239名が申請をされ、順次接種を受けている状況でございます。

なお、この事業はワクチンによる抗体価の上昇とインフルエンザの流行期との兼ね合いから、1月31日までに接種するよう進めており、予防の基本となる「うがい・手洗いの励行」の呼びかけとともに、任意ではありますが引き続き予防接種の勧奨に努めてまいります。

★ 前浜の漁業について

本年の前浜漁も終了期を迎えようとしております。11月末の漁業協同組合の取扱では鮮魚で、ヒラメ、タコ、ナマコは数量、金額とも昨年同期より増えているとのことですが、全般に厳しい状況が続いております。

す。

養殖昆布は、製品数量は減少しましたが、価格が高値で推移したことにより、1億1,512万5千円の増とのことであります。

★ 漁港工事について

今年度発注されました福島漁港工事は、順調に実施され、今後は新しい灯台の整備等が予定されております。

★ 水産加工業について

スルメの原料を、昨年同様他管内から確保し操業しております水産加工業は、原料価格の高騰により、大変厳しい経営をしておりますので、早期の安定的な経営が行われることを願っております。

★ 水稻の作況状況について

水稻の作況状況につきましては、春先の天候不順により生育が心配されましたが、その後の天候回復により収穫量は昨年を上回ったとの報告を受けております。

★ 日曜どすこい朝市について

朝市実行委員会主催による「日曜どすこい朝市」は、10月で終了いたしました。今年も新鮮な野菜と魚介類の販売で、町民に好評であります。開催日が例年より遅れたため開催日数の減ったこともあり、若干売り上げが減少し、また、毎週月曜～金曜日まで開催の青函トンネル記念館前の直売所につきましては、昨年より販売品も増え、売り上げも上回っているとの報告を受けております。

★ 横網記念館及び青函トンネル記念館の入館状況について

両記念館は例年より15日早い11月15日に冬期休館となりました。横網記念館の今年の入館者は9,425人で、前年同期より2,431人の減少となりました。

青函トンネル記念館についても、今年の入館者は8,877人で、前年同期より1,462人の減少となりました。

今年は特に、東日本大震災の影響等により両記念館の入館者が前年同期で約17%減少しておりますが、入館者の増加に向けて関係団体と連

携し、PR活動に努めてまいります。

★ プレミアム付商品券発行事業について

福島町商工会が実施したプレミアム付商品券発行事業は、7月6日に予約を開始し、利用期限を9月30日として事業を完了しております。

商品券の購入世帯数は1,056世帯で3,000組の売上となりました。

商品券の換金額も38,934千円となり計画の99.8パーセントに当たる結果となりました。

また、予約申込受付は16箇所利用取扱店は101事業所となっております。

利用業種の内訳は、石油燃料店41.5パーセント、食品雑貨店22.2パーセント、家具雑貨店11.7パーセント、衣料品店5.6パーセント、電化製品店5.6パーセントで、この5業種で86.6パーセントを占めております。

本事業については、経済活性化の一助として消費者はもとより、地元商工業者への波及効果があったものと思っております。

★ 第17回北海道産直フェアへの「北海道福島会」の参加について

北海道ふるさと会連合会主催による北海道産直フェアは、9月30日から10月2日まで、東京都代々木公園屋外広場で、参加20市町・北海道関係団体2店舗で開催され、3日間で約28万人の来場者があり、北海道福島会は目標の売上を達成することができ、首都圏の皆様には北海道福島町のPRをすることができました。

「北海道福島会」は、来年度も参加する意向がありますので、今後も参加支援をして参ります。

★ 出稼者の就労先訪問について

11月10日、福島町の皆さんが働いている出稼ぎ先を訪ね、元気に働いている方々を慰問しました。

今回訪れたのは、余市町にある海道建設株式会社・梅川トンネル作業所です。

当作業所には、福島町の方が4名働いていましたが、2名が現場を移動し、訪問時は2名の作業員の方が元気に働いていました。休憩時間を

利用して、今後の工事進行手順や作業現場の状況について懇談し、福島町の近況についての情報交換をしてまいりました。

皆さんは、連休を利用して時々帰郷しているそうですが、家族とゆっくり過ごすことを楽しみにしているとのことでした。

今後も、福島町民が安心して働ける環境づくりができるよう福島町職業援護相談所と連携して事業に取り組んで参ります。

★ 殿様街道探訪ウォークの開催について

大千軒岳山麓で行われた「殿様街道探訪ウォーク」は、小雨降るあいにくの天候でしたが、10月23日（日）に開催されました。

町内外から約70名の参加があり、福島町千軒地域活性化実行委員会のスタッフの案内により、歴史名所の説明を受けながら、鮮やかな紅葉の中を約7km散策し、昼食に千軒そばを味わった後、松前神楽の奏上などを楽しみました。

★ 建設事業について

渡島総合振興局函館建設管理部知内事業所より、福島塩釜5急傾斜地工事を来年2月20日までの工期で、10月20日に発注したとの報告を受けております。

函館開発建設部では、来年3月22日までの工期で施工している吉田橋架換えに伴う旧橋の撤去と新橋の下部工事は、旧橋の車道撤去が完了し、現在は、旧橋の橋脚撤去と新橋の下部工事を施工中であります。

また、歩道拡幅のための町道川原町1号線沿いの擁壁新設工事と旧擁壁の一部撤去工事は、12月中旬頃までに終了する予定とのことであります。

★ 工事等の発注状況について

平成23年度予算での町発注状況の一覧表を添付しておりますので、後ほどご参照願います。

以上で、平成23年度定例会9月第2回会議以後の行政報告を終わります。

なお、教育行政報告については、このあと教育長から報告させますが、本会議に提案の議案は、条例の制定が3件、全部改正が2件、一部改正

が4件、計画の変更が2件、予算案が4件、計15件のご審議をお願い
申し上げます。

議案の内容につきましては、後ほど担当課長等から詳しく説明させま
すので、ご審議のうえ議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教 育 行 政 報 告

平成23年度定例会9月第2回会議以後の教育行政報告を申し上げます。

★ 道立福島商業高等学校の存続対策について

高校存続に向けては、来年度入学者の20名以上の確保が必須となっている状況の中、議会総務教育常任委員会の所管事務調査においても説明をさせていただいた入学奨励金の増額や部活動奨励補助、さらには町外からの入学者に対する通学定期全額補助などの来年度以降の入学支援拡大予定策について、10月上旬に福中3年生保護者等に対して周知啓発を図り、福島商業高校への入学選択を呼びかけたところであります。

また、高校サイドにおいても、町の拡大支援予定策を踏まえた町内及び近隣町の生徒・保護者への学校説明会、さらには体験入学会を例年より早めて実施するなど、入学者確保に向けた活動を行ってきております。

年明け後には、入学願書受付が始まることとなりますが、引き続き、町内外に対して福島商業高校の職業校としてのアピールを図るとともに、高等学校と連携を図りながら、入学者の増加につながる新たな支援策などについての検討を進めてまいります。

★ フッ化物洗口の実施について

全国的に道内の児童・生徒の虫歯有病率が高い状況の中、北海道では、児童・生徒の「歯・口腔の健康づくり」に向けて、道内各市町村に推進指定校を設け、学校内における「フッ化物洗口」の推進を図ることとしております。

当町においては、吉岡小学校を推進指定校として定め、町部局や学校医、保健所等とも連携しながら、学校教諭や保護者等への説明会を行ってまいりました。そうした経過を踏まえ、全学年のうち希望する児童を対象に、11月より週1回の「フッ化物洗口」を行っており、現状においては、スムーズな導入が図られているところであります。

今後の町内小学校における取組みにあたっては、現在の実施状況を充

分に把握しながら、検討を進めてまいります。

★ 武道必修化に伴う相撲授業の取り組みについて

中学校においては、来年度から新学習指導要領に基づく武道授業が本格実施となりますが、福島中学校では武道の中から「相撲」を選択することとして、昨年より試行期間における授業としての取り組みを進めてきております。

そうした中、今年度は文部科学省の「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校」に応募したところ、その実践指定校としての決定を受けたことから、今年度購入予定の相撲土俵マットや相撲パンツが国庫補助対象となり、10月下旬には、購入整備を終えたところであります。

現在、地域実践指定校として、福島町相撲協会の協力のもとで相撲授業の指導をいただくなど、来年度からの本格実施に向けて授業指導体制の環境づくりを進めており、今後も「横綱の里づくり」の一環として、学校教育における「相撲授業」の展開に努めてまいります。

なお、この事業に係る財源振替予算を本議会に補正計上しております。

★ 東京農大の出前講座について

東京農大との包括連携協定に基づく町内小中学校、高校への教育的支援活動の一環として、動植物などの観察を通じた実験授業、また、高校では、産業経営学に関する講義など、各学校において教授や講師、学生による「出前講座」が9月から12月にわたって行われました。

各学校の授業等を通して、児童生徒は福島町の海域に生息するプランクトンの状況や、水辺の身近な植物の生態などの説明を受け、驚きの歓声も上がるなど、貴重な授業時間を過ごすことが出来たと捉えており、次年度以降の事業展開にも期待をしているところであります。

★ 「メッセージコンクール」における受賞について

インターネット上の有害情報による被害やネットいじめなどのトラブルから青少年を守ることを目的とした、北海道等の主催による「ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」が今年度も行われました。

夏休み期間を通して、町内小中学校からも多くの作品の応募がありましたが、結果として、小学校の部の標語部門において、福島町立福島小学校4年生の馬躰洸史郎君の作品である「メールより 言葉を交わす大

切さ」が渡島管内の最優秀賞を受賞し、引き続き全道審査の結果、北海道知事賞に次ぐ北海道教育長賞（優秀作品）に選ばれました。

この結果を受けて、去る11月28日には、和田渡島教育局長が福小に来校し、全校集会の中で表彰伝達式が行われたところであります。

★ 学校給食センター建設事業について

学校給食センター建設工事につきましては、現在は3学期からの稼働を目指して進められているところであります。

今後は、関係機関との協議や新しい設備への対応をするための調理員等の研修を行うなど、衛生管理の徹底や魅力ある学校給食の提供に向けて稼働体制を整えるべく諸準備を取り進めてまいります。

★ 道立近代美術館の移動美術展について

10月1日～5日までの5日間、福祉センターにおいて移動美術展が開催されました。

北海道立近代美術館のコレクションから北海道美術の名品40点が展示され、開催初日には美術館学芸員による「作品鑑賞講座」も開催されるなど、期間中には町内外からの来場者もあり、町文化団体と連携した事業実施によって、多くの町民が美術作品に触れる、良い機会となりました。

★ 館崎遺跡埋蔵文化財発掘調査について

北海道新幹線関連工事に伴い実施されてきた、館崎遺跡の最終年となる今年の発掘調査が、11月9日をもって終了いたしました。

今年の発掘作業においては、これまでに引き続き、狭い発掘エリアの中から大量の土器や石器が出土したほか、国内最大級ともいわれる「岩偶」をはじめ、耳飾等の貴重な出土品が発掘されたところです。

数年後には全体調査の報告書の提出と合わせ、これまでに発掘されたすべての出土品が町に対して返還されることから、今後は、保存方法や展示等の利活用について、検討を進めてまいります。

★ ファミリースポーツ公園及び町民プールの利用状況について

ファミリースポーツ公園パークゴルフ場は、10月末日をもってクローズいたしました。今年、芝の状況も良く、利用者には大変喜ばれた

ところであり、利用状況は、昨年に比べて80人と若干増の7,376人となっております。

また、町民プールは9月末日でクローズとなりましたが、利用者数は3,772人と、昨年に比べて1,093人の大幅な減少となっております。特に8月の海浜プールのオープンによる、幼児・小中学生や保護者の減少が要因として捉えられますが、両施設とも、来年度以降も利用者に親しまれ、健康増進面を含めて広く活用されるよう、より質の高い管理運営に努めてまいります。

★ 南北海道駅伝競走大会について

11月6日に開催された第29回南北海道駅伝競走大会は、全道各地から129チームが参加し、あいにくの雨模様の中でのスタートでしたが、地元小中学生が多数参加して大健闘するなど、近年になく、盛り上がった大会となりました。

大会運営にあたっては、町内会やライオンズクラブ、交通安全関係機関、各小中学校や福島商業高等学校、そして各企業等にもボランティアとして協力をいただき、事故もなく無事終了したところであります。

★ 町民文化祭について

11月12日、13日の両日、町文化団体協議会を中心とする実行委員会のご協力をいただき、福祉センターにおいて町民文化祭が開催されましたが、今年も展示部門や舞台部門にたくさんの参加がありました。

また、文化祭初日の舞台部門終了後には、昨年に引き続き小中学生の読書感想文・感想画コンクール入選者表彰を行いました。当日の文化祭会場に訪れた多くの方々の祝福を受けたなかで、児童生徒にとっても励みとなる表彰式となったところであります。

以上、平成23年度定例会12月会議にあたり、教育分野に係る行政報告を終わります。

◎ 平成23年度 普通建設事業の発注工事等・完成一覧表(9月会議以降)

番号	見積入札 月日	契約 月日	工事名等	契約相手	工期	予定価格A	契約金額 B	落札率 B÷A	完成 月日	備考	
1	6月24日	6月27日	板橋水道配水管取替工事	鶴金澤建設	9月30日	26,224,800	25,200,000	96.09%	9月30日		1
2	7月28日	7月29日	新緑公園整備工事	安岡建設工業㈱	11月30日	6,993,000	6,772,500	96.85%	11月14日		2
3	7月28日	7月29日	浄化槽設置工事(その2)	磯石四組	10月20日	10,078,850	9,785,000	96.91%	9月29日		3
4	7月28日	7月29日	浄化槽設置工事(その3)	(有)創祐建設	10月20日	9,590,700	9,206,400	95.99%	10月20日		4
5	8月26日	8月26日	吉岡地区外小規模治山工事	安岡建設工業(株)	10月31日	997,500	997,500	100.00%	10月28日		5
6	9月8日	9月8日	福島総合流域防災工事付帯上水道 管移設工事 (吉田橋添架設配水管撤去工事)	中塚建設㈱	11月30日	831,470	593,250	93.95%	9月26日		6
7	9月9日	9月9日	鳥獣被害防止パトロール車	立崎自動車工業(有)	11月30日	2,299,500	1,890,000	82.19%	10月7日	予定価格非開示	7
8	9月16日	9月20日	町有林造成事業	福島町森林組合	12月26日	6,996,287	6,942,600	99.23%		随意契約	8
9	9月16日	9月20日	森林整備加速化・林業再生事業	福島町森林組合	12月26日	1,762,289	1,682,100	95.45%		随意契約	9
10	9月26日	9月26日	旧白符小学校古民具収蔵改修工事	柏崎工務店	11月30日	913,500	913,500	100.00%	11月4日		10
11	9月26日	9月26日	町道川原町1号線配水管取替工事	中塚建設㈱	10月31日	5,098,695	4,893,000	95.97%	10月31日		11
12	10月13日	10月14日	町有林間伐及び資源調査事業委託 業務 (緊急雇用創出推進事業)	福島町森林組合	1月31日	1,530,822	1,530,822	100.00%		随意契約	12
			合 計			73,115,413	70,386,672	96.27%			